

第3回世界防災フォーラムでの指定国立大災害科学世界トップレベル研究拠点セッションを開催しました(2023/03/10-11)

テーマ：World Bosai Forum、指定国立大災害科学世界トップレベル研究拠点、AOS、レジリエンス社会
会場：仙台国際センター

令和5年3月10-12日に第3回世界防災フォーラムが仙台国際センターで開催されました。東北大学の指定国立大災害科学世界トップレベル研究拠点(以下拠点)は「Holistic Approachによる災害レジリエンスの再構築」を目標とする理工学・医学・人文社会科学を災害レジリエンス学として体系化し、それらの研究成果の発信と社会実装を推進するために、3月10日と11日に合計3つのセッションを企画しました。副拠点長の寺田賢二郎教授(計算安全工学研究分野)がワーキンググループを組織し、各領域長ほか、橋本雅和助教(災害ジオインフォマティクス研究分野)、富田史章助教(海域地震学研究分野)、パク・ヘジョン助教(災害医療情報学研究分野)、北村美和子特任研究員:助教(国際研究推進オフィス)、そしてWGメンバーとして泉貴子教授(国際防災戦略研究分野)、マリ・エリザベス准教授、ボレー・セバスチャン准教授(共に国際研究推進オフィス)、サッパシー・アナワット准教授(津波工学研究分野)、マス・エリック准教授(災害ジオインフォマティクス研究分野)が運営に携わりました。

拠点として主催した3月10日のセッション1のテーマは「レジリエントな社会を実現するための国際・学際連携に向けて」、今村文彦所長・拠点長より開会の辞が述べられました。環太平洋大学協会(APRU)の最高責任者であるトマス・シュナイダー教授から「APRUと東北大学の連携について」と題しての報告の後、拠点の災害実践(越村俊一教授(災害ジオインフォマティクス研究分野))・理学(木戸元之教授(海域地震学研究分野))・人文学(木村敏明教授(文学研究科))・医学(江川新一教授(災害医療国際協力学分野))のそれぞれの研究領域の領域長から報告がありました。

セッション2では、拠点の予算でクロスアポイントメント教員となっている、ロンドン大学(UCL)、ハーバード大学、ワシントン大学(UW)の研究者による活動報告と研究プロジェクトの進捗報告がありました。具体的には、UCLのアンドレア・レヴェシュ教授、ハーバード大学のアンドリュー・D・ゴードン教授、ワシントン大学のランドール・ルベック名誉教授から様々な分野の災害研究成果について発表があり、各分野で国際的に活躍する研究者より最先端の災害科学の知見が共有されました。また、APRUのジョン・ランドル教授(国際防災戦略研究分野・特任教授(客員))から、APRUマルチハザードプログラムの10年の活動の成果と今後の活動計画などについての講演がありました。さらに、慶応義塾大学のラジブ・ショー教授から、2019年に創刊された災害国際ジャーナルである『Progress in Disaster Science』の編集の近況と自身の災害研究の成果の報告がありました。クロージングスピーチとして大内二三夫教授(ワシントン大学名誉教授・東北大学特任教授)から、未来の災害科学研究が向けるべき未来の方向についての提言がありました。

3月11日のセッション3では、大学の世界展開力強化事業(レジリエントな社会を創造する日英米大学の国際連携)主催のセッションが開催されました。このセッションでは災害とジェンダーの観点から「D.E.I.(Diversity Equality Inclusion)の実践:レジリエントな社会を目指して」をテーマとして、UCL IRDRのピーター・サモンズ教授、UCL IRDRジェンダーと災害センターのモウリーン・フォードムセンター長とプナム・ヤダブ副センター長、防災科学技術研究所の松川杏寧研究員から講演がありました。また、UCL、SOAS(School of Oriental and African Studies(University of London))、

(次頁へつづく)

ケンブリッジ大学とワシントン大学の大学院生による東日本大震災のフィールドワークの報告、登壇者全員による D.E.I.の実現とインクルージョン防災への進歩のための熱いディスカッションで、災害レジリエンスの実現の可能性を発見しました。

今回、拠点の活動が重要な役割を担っていることが報告されたのみならず、世界の様々な研究者、研究センター、大学が強い連携を持っており、連携による国際的な共同研究や減災活動を通じ、レジリエント社会の構築、さらに世界防災力の強化へ貢献することが期待されます。

文責: パク・ヘジョン (災害医療情報学分野)



拠点セッションの登壇者と主催メンバー



セッション3のディスカッションの様子